

令和6年10月定例教育委員会議事録

|                  |   |   |
|------------------|---|---|
| 開 閉 日 時          | 令和6年10月21日 午後 1時30分開会<br>午後 2時43分閉会   |   |
| 開 催 場 所          | 志木市役所 教育委員会議室   |   |
| 委員の出席状況          | 出 席   | 柚木博教育長、岩澤千恵子教育長職務代理者、<br>上野幸子委員、飯田昌利委員、可知良之委員 |
|                  | 欠 席   | なし  |
| 説明のため出席した者の氏名・職名 | 今野教育政策部長、成田参事兼教育総務課長、佐野参事兼学校教育課長、土崎参事兼生涯学習課長、坂口教育サポートセンター所長、樺嶋いろは遊学館長、桜谷柳瀬川図書館長、竹田いろは遊学図書館長、徳留生涯学習課主幹、新井生涯学習課主任   |   |
| 会 議 書 記          | 石田教育総務課主事   |   |
| 傍 聴 人            | 2人  |   |
| 会 議 内 容          | <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和5年度教育費決算について</li> <li>(2) 「親子で体力測定とニュースポーツ体験」の実施報告について</li> <li>(3) 第22回いろはふれあい祭りの実施報告について</li> </ul> <p>その他</p> |   |

審議内容（発言者、発言の要旨）

○**柚木教育長**

令和6年10月定例教育委員会会議の開会を宣す。  
傍聴希望者について、傍聴を許可した。

＊＊ 傍聴人 入場 ＊＊

教育委員会の新しい体制について報告した。  
議事録署名委員に飯田委員を指名した。  
会議書記に石田主事を指名した。  
9月定例教育委員会議事録を各委員に諮り、承認された。

◎**教育委員会報告**

○**今野教育政策部長**

令和6年9月定例教育委員会後の教育委員会の主な動きを報告する。

- ・ 9月25日 定例校長会
- ・ 9月26日 令和6年度志木市議会9月定例会 閉会
- ・ 9月28日 宗岡第二中学校修学旅行（30日まで）
- ・ 9月29日 市民テニス大会  
小中学生ビブリオバトル大会  
親子で体力測定とニュースポーツ体験
- ・ 10月1日 令和6年度南部教育事務所総務・人事・学事担当学校訪問  
（宗岡第二小学校・宗岡第四小学校・宗岡中学校）
- ・ 10月2日 トラック協会クリアフォルダー寄贈
- ・ 10月4日 埼玉県都市教育長協議会第2回定例協議会
- ・ 10月6日 チャレンジ サバめしだ ホイ
- ・ 10月7日 令和6年度南部教育事務所総務・人事・学事担当学校訪問  
（志木第二小学校・宗岡小学校）
- ・ 10月9日 南部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問  
（志木第三小学校）
- ・ 10月10日 地方教育行政功労者表彰式  
郷土資料館特別展「志木のまちなみと商家・商店」（11月17日まで）
- ・ 10月11日 南部地区道徳教育研究協議会（宗岡第三小学校・宗岡第二中学校）  
いろはふれあい祭り（13日まで）
- ・ 10月13日 体育祭（志木中学校）
- ・ 10月16日 教職員人事評価校長中間申告教育長面談（17日まで）
- ・ 10月18日 朝霞地区小・中学校管理職人権教育懇談会

## ◎報告事項（１）令和５年度教育費決算について

### ○成田参事兼教育総務課長

令和５年度教育費決算について、所属ごとに主な事業を説明する。はじめに、教育総務課、学校教育課、教育サポートセンターの各所属長より説明する。なお、資料の事業報告書は、地方自治法に基づく「主要な施策の成果を説明する書類」に位置付けられており、今回は教育費について抜粋している。

まず、教育総務課の主な事業について説明する。小学校施設管理に要する経費について、主な事業としては、志木小学校等複合施設空調設備改修工事（第４工区）、宗岡第三小学校給食室空調設備設置工事等を実施したものである。つづいて、中学校施設管理に要する経費について、主な事業としては、志木中学校給食室空調設備設置工事、宗岡中学校給食室空調設備設置工事等を実施したものである。

### ○佐野参事兼学校教育課長

学校教育課の主な事業について説明する。はじめに、小中一貫教育推進に要する経費は、市内全中学校区において小中一貫教育を推進するための経費であり、主な支出は、小中一貫教育学びプロジェクトコーディネーターをはじめとする会計年度任用職員の報酬、手当、及び小中一貫教育推進委員会の運営や推進計画の策定等の支援に係る業務委託である。つづいて、小学校給食管理に要する経費は、安心安全で質の高い学校給食を提供するため、栄養士に係る報酬、手当のほか、調理業務や生ゴミ処理の委託料、老朽化した調理機材の入れ替え等による備品購入に加え、物価高騰による保護者の経済負担を軽減するため、補助を行ったものである。次に、小学校教育活動支援に関する経費は、低学年スマート教員、英語専科教員、スクールサポートスタッフの報酬、手当等、また、中学年スマート教員や水泳指導の業務委託等、教育活動に必要な経費を支出したものである。最後に、中学校教育活動支援に要する経費は、生きる力推進講師、ベーシックサポート事業、中学校学力検査等、教育活動に必要な経費を支出したものである。

### ○坂口教育サポートセンター所長

教育サポートセンターの主な事業について説明する。まず、教育相談等に要する経費は、臨床心理士、公認心理師、言語聴覚士、特別支援教育支援員、学校福祉相談員の報酬、期末手当等のほか、日本語指導員、スーパーバイザー等の報償費となっている。昨年度の相談件数は２２，７８１件で前年度より２，０３８件増加し、オンライン相談も令和４年度の１３件から、昨年度は２８件に増加している。つづいて、教育サポートセンター管理運営に要する経費は、教育サポートセンターがある総合福祉センターの負担金、印刷や通信費、公用車の借り上げ料等である。

### ○飯田委員

臨時教員及び教職員研修に要する経費で、予算執行率が他と比べ低いところが気になったが、何か理由があるのか。

○佐野参事兼学校教育課長

教職員が不足した場合、県から代員が当てられるまでの間、市で代員をつけるものであるが、現状、県からも教員が当てられない程の教員不足の中、市で代員をつけることの難しさが執行率の低い要因の一つとなっている。ただし、学校に代員をつけられない状況が生まれまいよう、予算を多めに想定しているため、執行率が100%になるような予算の配分ではないということをご理解いただきたい。

○岩澤教育長職務代理者

同じく、臨時教員及び教職員研修に要する経費について、養護教諭の代員派遣回数が今年度は12回ということで、具体的にはどのような場合にきていただいたのか。

○佐野参事兼学校教育課長

代員配置の概要としては、養護教諭が育休や病休で業務を空ける際に、県から派遣されるまで配置する場合や、八ヶ岳等の校外学習に養護教諭が出向くときに、留守になってしまうところできていただいた場合があった。

○可知委員

小学校施設管理に要する経費について、現時点で給食室の空調設置は何校完了しているのか。

○成田参事兼教育総務課長

小学校で8校中7校、中学校で4校中4校完了している。

○可知委員

自分自身が校長であったとき、昨今の夏の猛暑の中、調理員さんが作業されているのを見てきたので、空調設備が整ったことは、大変素晴らしいと感じた。

○岩澤教育長職務代理者

教育相談等に要する経費で、オンライン相談が増加してきたことに関して、具体的な内容や、相談者の年齢層をお聞きしたい。

○坂口教育サポートセンター所長

相談内容については偏りは見られない状態である。実際に来所できない方々がオンラインで相談するような形になっており、例えば母親は来所できるが、父親が来所できない場合は、父親はオンライン相談とすることが可能である。また、年齢的には保護者の年齢層となるため、30代、40代が多く見られた。

○成田参事兼教育総務課長

つづいて、生涯学習課、いろは遊学館、柳瀬川図書館、いろは遊学図書館より説明する。

### ○土崎参事兼生涯学習課長

社会教育・生涯学習に要する経費については、社会教育委員への報酬、人権研修会等の講師謝礼、はたちの記念式等に係る業務委託料、そのほか社会教育関係団体補助金などが主な支出である。地域文化振興に要する経費は、地域文化の創造と振興を市民自ら推進していくことを支援するための経費で、市民文化祭等の委託料や、文化体験道場に関する講師謝金などが主な支出である。放課後子ども教室に要する経費については、放課後子ども教室を市内全小学校において実施したもので、放課後志木っ子タイム運営委託料を支出している。文化財保護に要する経費については、指定文化財の保護・保存管理を行うとともに、市民の文化財保護の意識の向上を図ったもので、指定文化財所在地の草刈りや資料マイクロフィルム電子化の業務委託料、文化財保管用倉庫の賃貸借料、田子山富士塚等の維持管理費が主な支出である。次に学校開放に要する経費については、市内小中学校の体育館及び校庭を一般団体等に開放し、地域でのスポーツ振興を図るもので、志木小学校バスケット装置の修繕、宗岡第四小学校屋外トイレ及び宗岡第三小学校トイレの清掃業務委託などが主な支出である。市民体育館管理運営に要する経費は、施設管理に係る指定管理料等が主な支出である。なお、工事請負費は非常照明用蓄電池交換工事のほか、給水ポンプに異常が生じたため、予備費を活用して対応した。秋ヶ瀬運動場施設管理運営に要する経費については、指定管理料、秋ヶ瀬総合グラウンドの樹木の伐採、秋ヶ瀬運動公園のトイレ撤去に係る業務委託料のほか、秋ヶ瀬スポーツセンターで使用している卓球台5台を、まちづくりサポート基金を活用して購入した。

### ○樺嶋いろは遊学館長

いろは遊学館では、新型コロナウイルス感染症が5類へと移行し、4年ぶりに、計画したすべての事業を実施することができた。「新しい生活様式」に対応したオンライン講座も6事業を実施し、定着してきたものと考えている。まず、複合施設の特徴である学社融合事業として、「いろはふれあい祭り」、「いのちを学ぶ人権講座」を実施した。つづいて、いろは遊学館管理運営に要する経費については、防犯カメラの経年劣化のため、賃貸借により更新し、同じく性能が著しく低下していた給水ポンプについても更新工事を実施した。なお、決算額が令和4年度と比較して19.08%減となっているが、清掃業務委託、複写機賃貸借等において、入札差金が生じたものである。

宗岡公民館管理運営に要する経費については、コロナ禍で中止していたパソコン相談会が再開し、宗岡公民館まつり、フリーマーケットも開催することができたが、読み聞かせ事業の参加者が低調なのが課題として残っている。宗岡第二公民館管理運営に要する経費については、宗岡第二公民館は、指定管理者の志木市社会福祉協議会により運営されており、図書室においては、未就学児の利用促進を図り、一定の成果をあげている。また、近隣に県立志木高等学校と宗岡中学校があることから、フリースペースを自習に開放する取り組みも行っている。なお、宗岡第二公民館所有の陶芸窯については、令和5年7月に発生した事故を受け、使用を停止していたが、使用再開はできないと判断したことに伴い、現在宗岡第二公民館で活動している陶芸サークルは、いろは遊学館で活動を継続していくよう調整中である。

### ○桜谷柳瀬川図書館長

柳瀬川図書館事業に要する経費については、市民の図書館利用の促進や生涯学習の支援のため、乳幼児から高齢者、また障がいをお持ちの方への録音資料の貸出など、各種事業を実施するものである。子ども向けには、定例事業の「えほんのじかん」「おはなし会」、そのほか「科学あそび教室」「ブック・クリスマス会」等を実施し、しき図書館パートナーズ事業は、毎月1回「ボードゲーム」や、地域包括支援センターとコラボした「いざという時の介護と介護サービスの選び方」などを実施した。また、令和5年度から学校図書館事業推進アドバイザーを配置したので、定期的に学校訪問し、管理職や図書主任、学校図書員に助言、指導を行ったほか、図書館利用者の利便性を向上させるため、新たに市民会館仮設会議室の受付窓口で図書館予約資料を受取ができるサービスを実施している。次に、柳瀬川図書館図書購入に要する経費は、図書館の図書及び視聴覚資料を購入する経費であり、リクエストや多様な読書ニーズを踏まえ、蔵書に偏りが生じないように留意して魅力ある構成を図った。また、読書を通じた子どもたちの健やかな成長につなげるため、市内小学校新1年生に「読書通帳」配布し、読書意欲を高め、図書館の利用に結びつけるきっかけづくりに努めた。最後に、柳瀬川図書館管理運営に要する経費は、施設設備の維持管理や、会計年度任用職員の任用等運営に係る経費を執行するもので、令和5年度は、図書館コンピュータシステムの保守業務のほか、清掃業務、空調整備保守点検業務、コンビニエンスストア3店舗の図書館資料返却サービスなどの委託料が主な支出である。

### ○竹田いろは遊学図書館長

最初に、図書購入費について、市民の読書ニーズに対応するための新刊書や、利用者のリクエストに対応するため図書を購入したものである。いろは遊学図書館事業に要する経費では、併設する志木小学校との連携事業として、図書委員会との連携事業や低学年への図書館の使い方の説明のほか、乳幼児への読み聞かせやぬいぐるみお泊り会、学生のビブリオバトル大会、子ども司書講座等を実施するなど、幼児から小学生までを対象とした事業を行った。いろは遊学図書館管理運営に要する経費についての主な支出は、会計年度任用職員の報酬などで、図書館を安心安全に管理運営し、利用者が快適に図書館を利用できるよう努めた。

### ○上野委員

柳瀬川図書館事業に要する経費にある、ブックスタートについて、具体的に教えてほしい。

### ○桜谷柳瀬川図書館長

健康増進センターで毎月実施している乳幼児健診に職員が出向き、赤ちゃんが触れる初めての絵本「ブックスタート」として絵本やパンフレット等を配布しているものである。コロナ前は、読み聞かせのボランティアが、配布する本の紹介として読み聞かせをしていたが、令和5年度は本の配布だけになっている。なお、決算とは直接関係ないが、今年の7月から赤ちゃん向けの読み聞かせを再開している。

○飯田委員

いろは遊学館事業に要する経費の主要な事業内容として、学社融合事業にジュニア委員会とあるが、どのようなことをしているのか。また、賃貸借料とは、リース料ということか。

○樺嶋いろは遊学館長

ジュニア委員会は、志木小学校の5・6年生が、委員会活動としていろは遊学館と連携して活動しているもので、季節ごとにいろは遊学館の入口に装飾をしてもらうことが主な活動内容になっている。賃貸借料については、おっしゃるとおり、リース料のことを表している。

○岩澤教育長職務代理者

柳瀬川図書館事業に要する経費の学校図書館事業推進アドバイザー事業について、ぜひ学校図書館員視察研修会や、市内学校図書館紹介掲示を継続していただきたい。

○飯田委員

スポーツ推進に要する経費で、市民大会の少年サッカーとミニバスケットボールの大会が中止となっているのは、団体が大会を開催していないということなのか。

○土崎参事兼生涯学習課長

団体は活動をしていたが、昨年度はコロナ明けということもあり、人数等を考慮して開催しないという報告を受けた。今年度からはコロナ前に戻った形で大会を開催しており、活動自体はどんどん活発になっていると捉えている。

○飯田委員

秋ヶ瀬運動場施設管理運営に要する経費の中に「秋ヶ瀬運動公園については、前年度と比べ野球場、少年野球場の利用者数が増加したもののそれ以外のソフトボール場、サッカー場、タッチラグビー場などは利用者数が減った。」との記載があったので、関連して質問をさせていただいた。

○土崎参事兼生涯学習課長

活動自体は活性化し始めている。秋ヶ瀬運動公園の利用者が減ったのは、夏場の雨天や暑さの関係で利用不可の日が多かった、熱中症警戒アラートが発令されたために利用を控えた等のさまざまな要因があるが、具体的な要因については不明である。

◎報告事項（2）「親子で体力測定とニュースポーツ体験」の実施報告について

○土崎参事兼生涯学習課長

本市では、地域資源を活用した共同による活動を推進し、市の新たなにぎわいを創出するという目的で、8月28日に株式会社丸井と包括協定を締結したが、そのキックオフイベントとして、マルイファミリー志木にてイベントを実施した。具体的な内容につ

いては担当から説明する。

### ○新井生涯学習課主任

本市と株式会社丸井が包括連携協定を結んだ記念として、令和6年9月28日、29日の2日間にわたり、マルイファミリー志木と志木駅東口駅前広場を会場に、さまざまな団体がイベントを実施した。志木市教育委員会としては、29日にスポーツ推進委員にご協力いただき、親子で体力測定とニュースポーツ体験を実施した。体力測定は年齢に応じた全国の平均値に挑戦するというので、親子で握力と長座体前屈の2項目を体験していただき、ニュースポーツ体験では、フィンランド発祥のモルックというニュースポーツを体験していただいた。当日の写真やアンケートは資料のとおりであるが、非常に多くの親子がイベントを楽しんでいたと考えている。

### ○飯田委員

今後も株式会社丸井とイベントを実施していくのか。

### ○土崎参事兼生涯学習課長

丸井さんとしては、土日にマルイに行けば必ずイベントをやっているような形で、今後もイベントを実施していきたいというご意向があるようで、その中で教育委員会としては、スポーツに限らずさまざまなものを市民の皆さんに発信していきたいと考えている。

### ○飯田委員

アンケートにある来場者の住まいに関する項目で、おそらく市外の方である「その他」が半数を越えているが、今後もこのようなイベントを実施するにあたり、市内在住の来場者が半数を越えるようにさらにアピールをしていかれてはどうかと感じた。

## ◎報告事項（3）第22回いろはふれあい祭りの実施報告について

### ○樺嶋いろは遊学館長

いろはふれあい祭りは、遊ぶ心、集う心、学ぶ心、3つの輪というテーマで毎年開催しており、今年は10月11日から13日の3日間開催した。まず開会式では、体育館にて4年生の児童と連合婦人会の皆様で志木音頭を踊り、4年生以外の学年は教室にてリモートで参加した。次に模擬店は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから初めて復活し、ポップコーンやわたがしを販売したほか、志木小学校の150周年記念グッズの発売も行われた。2日目には市長、教育長、校長先生による読み聞かせを行い盛況であったが、全体的にサークルの数がコロナ前に比べ減少しており、展示の点数はかなり減っている印象である。3日目の閉会式では、生演奏のなか、一緒に歌いながら紙飛行機を飛ばすという形で締めくくった。このほか駐輪場については、今回は旧市民会館の駐輪場を閉鎖し、志木小学校プール跡地の駐輪場に誘導した。200台程度止められるところ、2日目は満車となったが、大きなトラブルなく無事に終了した。全体として、コロナ後初めての模擬店出店であったが、今回の出店数が丁度良い規模だった印象で、開会式については非常に好評であるものの、4年生以外がオンラインでの参加のため、現地参加の学年をロー

テーションしていくことを検討している。今後の課題として、3日目がステージ発表だけということはかなり閑散としてしまうため、3日間開催のところを2日にまとめることができるのか、また、新複合施設の建設工事が再開した場合、ふれあい祭りへ影響があるのか等想定しながら進めていきたいと考えている。

### ◎その他

郷土資料館特別展及び市民文化財講座の開催について

#### ○徳留生涯学習課主幹

令和6年度志木市立郷土資料館特別展「志木のまちなみと商家・商店」は、10月10日から11月17日までを会期として、志木市立郷土資料館にて開催している。一般的に、街並みにはその土地の歴史や文化が現れるという考えのもと、社会構造の変化や代替わり、世代交代、または法規制といった状況から志木の街並みが少しずつ変わりつつあるというのが現状である。かつて舟運で栄え、昭和の頃は市が立っていた街並みも徐々に変化し、歴史や文化に根づく街並みの痕跡がどんどん捉えづらくなってきているため、そういった痕跡が完全に消えてしまう前に、今一度、当時の写真、イラスト、絵図や古文書等の資料をひも解きながら志木の街並みを探るという展示である。また、特別展と併せた関連事業として、「座談会 昭和30年頃の本町通り」と題した市民文化財講座を計画しており、昭和30年頃の志木の街並みをよく知る市民を講師として、その時代の本町通りや昔の遊び、戦中戦後の街並みの変化を自らの言葉で語っていただくという企画である。文化財講座は、11月10日の開催を予定しており、定員は30名としているが、すでに数名が申込んでいると聞いている。

#### ○可知委員

学校等に紹介はされているのか。

#### ○徳留生涯学習課主幹

市の広報とXを用いて周知しているが、まだ直接学校には周知できていないため、これから実施したい。

#### ○飯田委員

せっかくの機会なので、小学生に見せてあげられるものを何か用意できるとなるとお良いのではないかと感じた。今回のように昔のことについて語っていかないと、忘れられてしまうのかなと感じるので、ぜひ良い回にしていきたい。

チャレンジサバめしだホイ！の実施報告について

#### ○新井生涯学習課主任

10月6日に実施した、「チャレンジサバめしだホイ！」は、いつ発生するかわからない災害に備え、子どもたち自身の協調性、自主性を高めることを目的として、青少年育成推進員、ボーイスカウト指導のもと、小学生53名が参加した。サバめしとは、サバイバル飯の略称で、当日は資料にもあるとおり、子どもたち自身にサバイバル飯の調理、調理に必要な資材の調達、準備を体験していただき、最後にはキャンプファイヤーを実施して参加者全員が汗

を流して終了した。事業後には子ども達の意見を直接聞くことができ、大成功であったと感じている。

ビブリオバトル大会の報告について

○竹田いろは遊学図書館長

志木市小中学生ビブリオバトル大会が9月29日に行われ、小学生が2名、中学生が5名の合計7名の小中学生が発表した。その結果、チャンプ本と準チャンプ本に選ばれた中学生2人が、11月14日に埼玉県で開催される中学生のビブリオバトル大会に出場することが決まっている。当初、小中学生ともに参加者数が少なく、開催できるか不安であったが、無事に開催することができ、観覧者の皆さまからは、「皆さんとてもしっかり説明することができていたと思います。」等、高評価のお言葉を多数いただいた。今後、ビブリオバトルの面白さを学校と連携して、どのように子どもたちに周知するかが課題であると考えている。

事務局より、次回定例教育委員会の日程を確認する。

○柚木教育長

他になれば、これをもって令和6年10月定例教育委員会を閉会する。

教育長

会議録署名委員

(※署名は原本)